



～おたより～

第9回難聴学級担任等学習会の様子

2月15日水曜日、第9回は2名の先生方にご参加いただきました。今年度のまとめと来年度の準備に向けて多忙な毎日を送っていらっしゃると思います。今回は「自己理解と理解学習」をテーマに「交流学級に向けての理解啓発方法」について各学校からお話しいただいた後、本校の通級担当から「通級での理解学習」についての紹介をさせていただきました。

難聴学級担任が、保護者が作成した難聴理解の紙芝居を使って交流学級(学年)の子どもたちに話をしました。全校の子どもたちには始業式の日に校長より児童の補聴器や聞こえにくさの説明をしてもらいました。



子どもたちにも「みんな1人1人ちがう」ということを伝えています。特別支援学級の子どもたちについての話を聞いた子どもたちから具体的な質問もあり、それに答えるということもありました。また「〇〇さんにはこうしてほしい」といったかわり方についても具体的に伝えました。きちんと伝えることで子どもたちも納得する様子が見られました。

紙芝居について

乳幼相談や幼稚園部の保護者には、本人が在籍する保育園や幼稚園、入学する小学校の子どもたちに分かりやすく伝えるために紙芝居を作るように勧めています。元版がろう学校にあるのでいつでも声をかけてください。宝物になりますよ♡

今年度は支援学級担任が交流学級に行って話をした後、交流学級の担任から補足をしてもらいました。前任校では全校の前で特別支援教育コーディネーターが話をしました。

< 通級での理解学習 >



～浜田ろう学校通級担当者の取組みについての情報提供～

- 自分のことを知り、自分のことを伝えるということ自立活動として通級で指導している。
- 通級の場合、学級担任に話してもらい、通級担当者はサブティーチャーとして参加。理解学習に向けて担任と指導案をもとに何度も話し合った上で実施した。通級の時間には自己理解を促しながら周りの人に理解してもらうことの大切さを伝え、本人の気持ちに寄り添いながらすすめている。
- 本人が理解学習に対する気持ち(したい・したくない)が言えることも大切。担任、保護者、通級担当者が共通理解する大切さを感じている。
- 毎年4月は学級の理解に向けて「自分からみんなに言いくい」「担任の先生からみんなに伝えてほしい」など、気持ちをきくようにしている。小学校高学年からは本人が前向きな気持ちで自分から発信できることを目指し、話し合う時間を大切にしている。

< 通級のワークシート紹介 >

一緒に考えよう!
こんな時は どうしてる? どうしたらいいと思う?



☆授業中に先生が 話されたことが分らなかった時

☆グループでの話し合いの時

☆テレビを見ていて セリフが わかりにくかった時

マスクで気になる、こんなこと?



みんながマスクをつけていて、今までとかわったことがありますか?

	よくある	少しある	ほとんどない
友達や先生の表情(わらってる?おこってる?)がわかりにくい。			
友達や先生の声が聞こえにくい。			
みんなが左右にはなれて話すと、わかりにくい。			
口もとがかくれているのでわかりにくい。			
笑い声を聞くと、自分のこと?人のこと?と思う。			
先生や友達は何を言っているのかわからなくて不安になる。			
話している人に近づいてしまう。			
みんなが突然動くと、わからない。			

今年度、ご参加いただきありがとうございました☆

令和5年3月24日 浜田ろう学校スタッフ一同